

ボランティア団体がつくる みんなでたのしむ文化祭

2020
VOL.5

かながわ

ボランティアフェスタ

DATE 1/30 (Sat)
2021 1/31 (Sun)
9:00-17:00

- KANAGAWA VOLUNTEER FESTA 2020 -

▶ 開催概要 1

入場
無料

展示コーナー

日時 1/30 (土)・31 (日) 9:00▶17:00

場所 かながわ県民センター 1F 展示場

物販および展示

- ・神奈川骨髄移植を考える会
- ・(国際協力NGO) Act for Child

- ・スマイルオブキッズ
- ・アニプロ

展示

- ・ABCジャパン
- ・神奈川県がん患者団体連合会
- ・神奈川子ども支援センターつなぐ
- ・神奈川子ども未来ファンド
- ・かながわ女性会議
- ・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク
- ・鎌倉あそび基地
- ・がんサネットジャパン
- ・湘南スタイル
- ・セカンドリーグ神奈川
- ・多文化共生教育ネットワークかながわ

- ・びーのびーの
- ・フェアスタートサポート
- ・フュージョンコムかながわ
- ・日本ホスピタルクラウン協会
- ・ミニシティ・プラス
- ・YUVEC
- ・横浜移動サービス協議会
- ・よこはま言友会
- ・横浜こどもホスピスプロジェクト
- ・横浜プランナーズネットワーク



今年は
展示とWEBの
実施だにゃ!



©2014 kanagawa pref.kanyao#0011

▶ 開催概要 2

視聴
無料

特別講演

日時 1/30 (土) 13:30▶15:00

講演 「横浜こどもホスピス うみとそらのうち」を
支える仕組み

講師 (特非) 横浜こどもホスピスプロジェクト
田川尚登 理事長

日時 1/31 (日) 13:30▶15:00

講座 スマホで誰でも簡単にできる
動画編集講座

講師 (特非) 湘南市民メディアネットワーク
中野晃太 理事長

！ 生配信での開催です！県民センター1F 展示場で直接聴講することが
できます！生配信映像で視聴したい方は、裏面をご覧ください。

▶ 新型コロナ対応情報

会場では新型コロナウイルス感染防止対策を徹
底いたします。入口では検温・消毒にご協力を
ください。また、神奈川県 LINE コロナお知らせ
システムへのご登録をお願いしております。

開催直前の急な中止・開催方法変更のお知らせ

当日の状況により、オンラインのみの開催となる場合があります。
下記により告知いたしますので、ご来場前に必ずご確認ください。

YouTube

https://www.youtube.com/channel/UCpWlbc_V7X1L5Cz0jTV17Aw



Facebook ページ

かながわボランティアフェスタ

<https://ja-jp.facebook.com/kanagawa.volunteerfesta/>

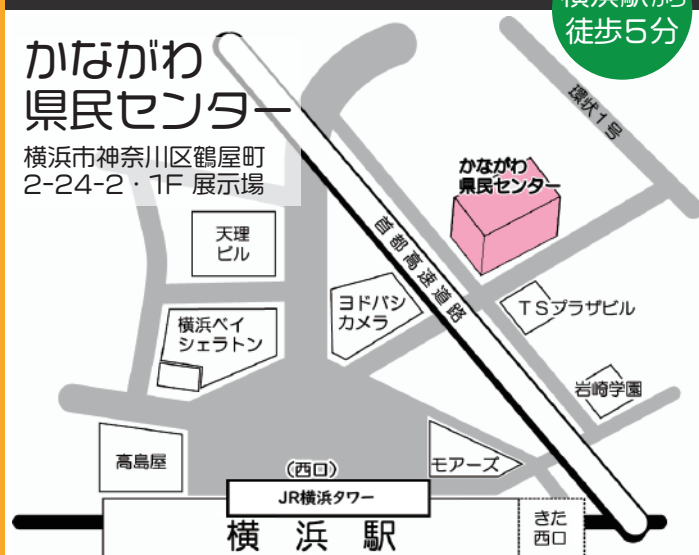


かながわボランティアフェスタ

▶ アクセス

かながわ
県民センター

横浜市神奈川区鶴屋町
2-24-2・1F 展示場



横浜駅から
徒歩5分

お申込みは不要です。お気軽にご参加ください！

一社) アニプロ



神奈川殺処分ゼロ8年間継続を牽引してきました。里親が見つかりにくい老犬猫・傷病犬猫を中心に引き出し、全ての子に適正な医療をかけてピカピカにし、新しい家族の元に送り出しています。介護が必要な子には、24時間体制でお世話をし、穏やかに暮らしながら寿命を全うさせることをポリシーとしています。講演やイベントを通じて活動を発信し、動物を終生飼養することの喜びと飼い主の責任を社会に伝えています。社会の動物愛護意識が高まり、最終的に飼育放棄が0となる事を目指しています。

✉: animalprotection1@yahoo.co.jp 🌐: http://www.ani-pro.org/

認定NPO) キャンサーネットジャパン



2人に1人が「がん」と診断される時代です。世の中には「がん」の情報はあふれていますが、その多くが間違った情報、さらには患者の不安をもたせざるを得ない悪徳な情報が含まれています。その中で、私たちはがん患者さんが、本人の意思に基づき、治療に臨むことができるように、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信を行っています。また、私たちの活動は、「がんになっても自分らしく生きる」ことを支援します。

☎: 03-5840-6072 ✉: info@cancernet.jp

一社) 神奈川県がん患者団体連会



がんになっても安心して暮らせる社会の構築のための事業の一つとして、「がん患者外部講師によるがん教育モデル事業」を行っています。学校でがん教育の講演を行うことで、子供たちの「生きる」を応援し、自分もみんなも大切にする共生社会を目指しています。質の高い外部講師の育成のため、がん患者と教育関係者・医療者・行政が集い、がん教育外部講師研修会を行いました。今年度、県下の学校で10講義の実施を目指しています。

✉: kenganrenkanagawa@gmail.com

特非) フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会



私たちの運営する法人名「フュージョン」とは「融合」を表しています。「コム」はコミュニケーションとコミュニティの略で、人との関わり・地域を表しています。

社会参加事業(空の旅、配慮食卓、ミュージカル観劇)や、研修事業(喀痰吸引等研修、摂食研修、意思伝達支援勉強会)、親の会支援をとりくみながら、多目的トイレへの大人用ベッドの設置活動、生涯教育の訪問サービス事業などに展開しています。

✉: info@cancernet.jp 🌐: http://www.kenshikyoku.jp/index.htm

神奈川骨髓移植を考える会(BMT神奈川)



白血病や再生不良性貧血などの血液疾患で苦しむ患者さんやそのご家族の支援を目的に、神奈川県内で活動しているボランティア団体です。骨髓バンクの普及啓発活動、骨髓ドナー登録会、患者サロン、医療講演会、患者相談会、チャリティコンサートを開催。イベント会場にて、会員手作りの医療用コットンキャップを中心としたチャリティグッズ販売のほか、会報『虹』の発行をしています。

☎: 090-4713-7300 (代表・村上) 🌐: https://www.bmtkanagawa.com/



認定NPO) 神奈川子ども未来ファンド



子ども・若者の育ちや子育てを社会で支えるための非営利の市民基金です。広く寄付を募り、神奈川県内で育ち・子育てを支援するNPOへ公募、選考を経て助成しています。16年間に、延べ111団体へ総額3,650万円の助成を行いました。また、子どもの現状をセミナーや朗読劇、ピンクシャツデーキャンペーン等で広く社会へ発信し、子どもたちが生きていることに誇りと喜びをもてる地域社会を目指して活動しています。

☎: 045(212)5825 ✉: info@kodomofund.com

特非) 湘南市民メディアネットワーク



映像・メディアコンテンツを通して人と人・人と地域をつなげることを目的としています。映像制作やイベントによって市民活動支援や地域の活性化等を行う他、障がいのある無や年齢を問わず多様な市民や不登校・ひきこもり・貧困等の困難を抱える子ども達も含めた青少年を対象に映像作品制作ワークショップを行うことで、自己表現の機会づくりや自己肯定感の向上、社会参加支援、コミュニケーションの活性化、メディアリテラシー教育等を行っています。

☎: 0466-47-7765 ✉: info@scmn.info

特非) かながわ女性会議



男女がともに、いきいきと生きられる「男女共同参画社会」の実現を目指して、神奈川県をベースに活動している団体です。平等で平和な活力ある社会の創造と、県下の女性が共に力を合わせることを目標に、1982年に設立されました。阪神大震災以降、「女性目で見える防災」をテーマに避難所生活の再現ワークショップや防災講座などに取り組み、皆さんも参加できる寸劇の形でオリジナルシナリオを作成しました。ぜひご参加ください。

✉: info@kanagawa-josei-kaigi.org

特非) 湘南スタイル



2005年6月20日 設立
湘南スタイルが目指す社会は、自社・自分の利益だけを追求するのではなく、地域社会全体が人間関係を構築し、関わる誰もがwin-winとなれるよう相互扶助・相互利益を築く「コミュニティ経済社会」の実現です。地域課題・社会課題に対して「ひと」「もの」「こと」をコミュニティビジネスを活用して解決する仕組みづくりを行っています。

☎: 0467-86-9200 茅ヶ崎市新栄町13-48ワシナビル5階

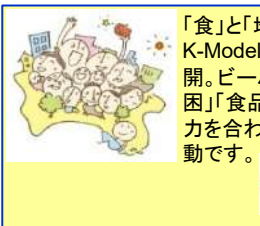
かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク



生活困窮者は経済的な困窮だけでなく、人間関係の貧困をはじめとする様々な困難を複合的に抱えていることが多いです。新型コロナの影響で、今までは自分のことを困窮者と思っていなかった人たちが家賃の支払いが不安になる人も多数存在しています。市民利用施設が閉まることにより、社会的に孤立したり、情報から疎外されたりしています。このような中で、神奈川県とNPO法人などの官民が連携して温もりのある街づくりを目指しています。

☎: 0467-46-2119 (全体事務局=インクルージョンネットかながわ)

特非) セカンドリーグ神奈川



「食」と「地域」をつなぎ神奈川から「貧困」をなくす、K-Modelの実践として「ビーバーリンク」を各地に展開。ビーバーリンクとは、社会的な課題である「貧困」「食品ロス」「空き家」「つながり」「孤立」などを、力を合わせてコミュニティをつくり、解決していく活動です。

はじめる! つなげる! ひろがる!
かながわの新しい経済び*ハッピーをつなげよう!
NPO法人セカンドリーグ神奈川

☎: 045-470-5564 ✉: sl-kanagawa@pal.or.jp

特非) 鎌倉あそび基地・フリースクールLargo



不登校の子どもたち一人ひとりが、多様な人々との交流の中からやりたいことを見つけ、その先の学び・将来に向けての社会的自立をするための支援をしています。また、不登校の子どもたちやそのご家族の置かれている現状を社会に周知し、理解を得ていくことや、子どもたちが生き生きと学べる環境作りについて多くの方と共に考え、提案し行動していくことが必要だと考えています。

☎: 0467-32-3830 🌐: https://fukafuka-kamakura.com/largo

認定NPO) スマイルオブキッズ



難病治療のため、自宅を離れて入院する子どもと家族の滞在施設「リラのいえ」を運営しています。神奈川県立子ども医療センターから徒歩5分。ボランティアの協力で1泊1,500円で利用できます。家族同士が支え合う場としての役割も担っています。その他にも、病児の兄弟・姉妹(きょうだい児)の保育など、家族の安心が子どもの笑顔に繋がる事を願って様々な活動を行っています。

☎: 045-824-6014 🌐: https://www.smileofkids.jp/

フェスタ2020 参加団体

認定NPO) 多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)



外国につながる子どもたちの教育を支援し、周囲の子どもたちと共に生きられる多文化共生社会を実現するという理念のもと、県内全域で活動しています。基金21協働事業では、県内10校の定時制高校でキャリア支援事業を展開し、写真のように高校内居場所カフェなど実施しました。他に県教委と協働して、「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス(県内6カ所で実施)」や「多文化子ども・若者支援センター(居場所・学習教室&相談事業)」など多くの事業を実施しています。

☎ : 045-896-0015 ✉ : info@me-net.or.jp

特非) 神奈川子ども支援センターつなぐ



虐待、性虐待、いじめ等を受けた子どもは、傷ついた身体と心のまま、自ら様々な場所へ赴き、自ら行動を起こすことを要求されます。児童相談所をはじめ、医療や行政、捜査機関などと連携し、診察を受けたり、負担の少ない司法面接により信用性が高く評価される証拠や証言の収集をしたり、権利擁護のための手続きのサポートや、身体的、精神的な問題についてもワンストップで対応が受けられる、子どもを中心にした子どもに優しい支援活動を実施しています。

☎ : info@tsunagg.com

国際協力NGO) Act for Child (旧:地球市民ACTかながわ/TPAK)



■Vision: 世界中の全ての子ども達が将来の夢や選択肢を自由に描き選べる平和社会の実現を目指します。Mission: 全ての人々に教育の機会を届け世界中の子ども達が貧困の連鎖から抜け出すための課題を解決します。平和を創造する人材を育成します。■海外活動(ミャンマー): 地域住民を主体とした教育環境整備事業(校舎建設、教員育成、設備整備、民族教育等) ■国内: グローバル人材育成事業、フェアトレード事業、多文化共生事業、平和教育等。

☎ : 045-891-5700 ✉ : igota.afc@gmail.com

特非) YUVEC



大学と産業界・地域社会の期待と要望を結ぶ「架け橋」となり、地域貢献することを目指している団体です。活動の一つが、「まだ出来る人」の隙間時間活用プロジェクトです。人生100年時代に対応してリタイアしたシニア層を職場に還流することにより、中小企業等の人手不足を緩和し、シニアに対して生き甲斐と経済的な支援を提供しようというものです。具体的には、研究会他開催、中小企業向けコンサルティング、求職者・業務委託先の紹介等の事業を行っています。

☎ : https://yuvec.org/ ✉ : yuvec02@ml.ynu.ac.jp

特非) 日本ホスピタル・クラウン協会



クラウン(道化師)が小児病棟を訪れて、闘病中の子ども達や家族、病院職員の笑顔を引き出す活動を行っています。全国96の定期訪問病院に総勢150名のクラウンが子ども達のベッドサイドまで行き関わります。わずかな時間でも辛い入院生活を忘れて笑顔になれる楽しい時間を提供しています。

☎ : 052-483-7789 ✉ : info@hospital-clown.jp

認定NPO) 横浜移動サービス協議会



横浜市を中心に高齢者や障がいをお持ちの方の外出をサポートするネットワークです。「何時でも、誰でも、何処へでも～」を合い言葉に、「つながる」「支える」「まなぶ」「遊ぶ」の4本柱で活動しています。多くのアクティブシニアが参加し、現役時代の経験と知識を活かして活動を支援してくれています。また、多くの障がい者、高齢者、透析・ガン患者が、支援対象者でもあり、活動者としても活躍しています。

☎ : 045-212-2863 ✉ : info@yokohama-ido.jp

特非) ABCジャパン



横浜市鶴見区在住の日系ブラジル人が中心となり2000年に設立した団体です。定住外国人の自立、多文化共生、子どもの教育保障を三本柱として、日本語教室、キャリアアップセミナー、ワークショップ、外国ルーツの子どものフリースクールなどを行っています。日本人も外国人も大人も子どもも、仲間としてお互いが住み心地のいい町・社会を作っていくため、日々目の前の課題に取り組んでいます。

☎ : 045-550-3455 ✉ : info@abcjapan.org

特非) 横浜こどもホスピスプロジェクト



生命を脅かす病気とともにある子どもときょうだいや家族が、家庭的な環境の中で豊かな時間を過ごし、喜びも悲しみも共に分かち合い支え続ける「こどもホスピス」の運営を目指し、こどもホスピスと小児緩和ケアの普及活動と人材育成を実践しています。このたび、横浜市が公募した「生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設」の整備運営事業者として選定されました。市有地(金沢区六浦東)でこどもホスピスの2021年秋の開設に向け準備しています。

☎ : 045-274-8686

認定NPO) びーのびーの



親子が密着育児にならないよう、共に学び育ち合う場を提供するために、親子で参加する新しい考え方の施設を造りたいと2000年に法人設立、「おやこの広場びーのびーの」を開所以来、常に子育て当事者、地域のボランティア、行政、企業などとも協働しみんなで子育てをする環境づくりを基盤として事業運営しています。2018年度より基金21補助金を受けて、仕事と子育ての両立を支援する取り組み「家族シミュレーション事業」に取り組んでいます。

☎ : kikaku@bi-no.org

特非) 横浜プランナーズネットワーク



市民の自発的なまちづくり活動支援を目的に、まちづくりに関わる多様な専門家が集まり設立した団体です。H19年から自主事業で「空き家相談窓口」を開設しています。本事業では、2017～19年度まで 空き家等を地域の住み難さを解決するための資源に活用して「地域の魅力」の向上につなげる活動を行いました。小地域の活動初期から伴走支援して5つのモデル事業に取り組み、県全域への普及をめざした実践的な推進方策を提案しました。

☎ : yokopula@gmail.com

特非) フェアスタートサポート



児童養護施設や定時制高校の、頼れる親を持たず18歳での就職自立を目指す若者達への就労支援を行っています。独自の基準で集めた優良な協力企業約100社と連携し、中高生時代から会社見学、就労体験、インターンシップをコーディネートします。就職後には食事会などのイベントを通じてアフターフォローを行い、安定した就労を継続させるためのサポートを提供しています。

☎ : 045-319-4675 ☎ : 045-319-4676 ✉ : info@fair-start.org

特非) よこはま言友会



安心して話せる吃音(きつおん)を持つ人たちのセルフヘルプグループです。かながわ県民センターで第2木曜日19時より例会を開催、第1日曜日には、川崎市中部身体障害者福祉会館で13時より川崎市日曜例会を開催。見学自由です。他に吃音改善トレーニング部を月1回かながわ県民センターで開催。一般市民対象の吃音フォーラムと親子きつおん交流会を年1回、神奈川県内で開催しています。全国言友会連絡協議会に加盟し、吃音の情報が豊富です。

☎ : 080-6612-9154 ☎ : http://yokohama-genyukai.wix.com/index

NPO法人) ミニシティ・プラス



「子どもの地域社会参画推進」をする活動をしています。基金21では「特命子ども地域アクターの活動」に取り組まれました。公募で集まった青少年たちが、まちづくりのいろは講座を受けたあと、団体とお見合い会で、まちの課題を特命として受け、まちづくりの現場に派遣され、企画段階から活動に関わり、プロジェクトを実施します。商店街や施設、行政などの困りごと、子どもたちのパワーを入れてみませんか？

☎ : 045-306-9004 ✉ : minicityplus@gmail.com

みんなで考えよう！
神奈川のSDGs！

かながわボランティアフェスタとは・・・

NPO法人等が行う社会貢献活動（ボランティア活動）を支援するための神奈川県「かながわボランティア活動推進基金21」により支援を受けたNPO団体等が、相互に連携・協力しながら、その活動を広く社会に向け発信するイベントです。



主催：かながわボランティアフェスタ実行委員会

共催：かながわボランティア活動推進基金21情報交換会

■特別講演（オンラインでも視聴可）

1月30日（土）

13:30～15:00

（特非）横浜こどもホスピスプロジェクト
理事長 田川 尚登 氏

（講演）

『『横浜こどもホスピス・うみとそらの
おうち』を支える仕組み』

日本でホスピスと言うと、末期がんの患者さんの病院、というイメージを持つ人もいられるかもしれません。横浜のこどもホスピスは違います。病気と共に生きるこどもたちが、家族一緒に、安心してすごせる場所です。家族が滞在中不安なく過ごせるように、看護師、保育士など、専従スタッフがしっかり安心を支えます。

日本でも珍しいこの、こどもホスピスは、さまざまな機関や皆様のご支援のもと、2021年秋に横浜市の金沢区に開設予定です。

今までの活動や、運営を支える仕組み、地域に開かれた、こどもホスピスについて、お話ししたいと思います。



■ミニ講座（オンラインでも視聴可）

1月31日（日）

13:30～15:00

（特非）湘南市民メディアネットワーク
理事長 中野晃太 氏

（講座）

「スマホで誰でも簡単にできる動画
編集講座」

映像を通して人と人・人と地域をつなげることを目的に活動しています。映像制作やイベントによって市民活動支援や地域の活性化等行うほか、青少年を対象に映像制作ワークショップを行うことで、自己表現の機会づくりや自己肯定感の向上、社会参加支援、メディアリテラシー教育等を行っています。

当日、講座に参加される方は、あらかじめスマホにアプリ「InShot」を入れた上で、ご自分で素材となる動画・写真をご用意いただけますと、進行がスムーズにできますので、よろしくお願いします。



視聴
方法



YouTube にて生配信いたします！

当イベントの YouTube チャンネルからご視聴ください。

